

計画を着実に進めていくため、P D C Aサイクルに基づき、外部の知識経験者や小中学校の教員で構成する「小牧市情報教育 I C T 推進委員会」において、次の項目をはじめ、各年度の取組状況について意見をいただき、進捗管理を行います。

(単位：％)				
	項目	基準値 (R3.3)		目指す方向性
		小学校	中学校	
教員の I C T 活用指導力	教材研究・指導の準備・評価・校務などに I C T を活用する能力	88.8		↑
教員の I C T 活用状況	授業中に I C T を活用して指導する能力	73.6		↑
	児童生徒の I C T 活用を指導する能力	75.3		↑
	情報モラルなどを指導する能力	84.2		↑
パイオニア校	1 日 1 回以上タブレット P C を活用しているクラスの割合	27.2	49.4	↑
	1 日 1 回以上授業支援ソフトウェアを活用する教員の割合	16.2	22.4	↑
	週 1 回以上デジタルドリルソフトウェアを活用する教員の割合	66.2	29.8	↑
パイオニア校	タブレット P C を活用した授業はわかりやすいと感じている児童生徒の割合	88.2	72.1	↑
	授業の中で I C T 機器を活用したいと感じている教員の割合	100	98.3	↑

ICT機器等

ICT機器	小学校	中学校
大型提示装置	電子黒板機能付きプロジェクタ	
実物投影機（書画カメラ）	普通教室各 1 台 一部特別教室	普通教室各 1 台
学習者用コンピュータ（学習系）	児童 1 人 1 台（iPad）	生徒 1 人 1 台（Surface Go、Surface Go2）
	PC 教室：各校10 台	PC教室：各校40台
指導者用コンピュータ（校務外部接続系）	授業を担当する教員に各 1 台	
校務用コンピュータ（校務系）	教員 1 人 1 台（統合型校務支援システム）	
無線LAN	普通教室、一部特別教室、運動場、体育館	
ICT支援員	全校月 4 回程度 訪問	



ソフトウェア・デジタル教科書

種別	小学校	中学校
オフィス	Office365（Word、Excel、Power Point、Teams、Formsなど）	
授業支援ソフトウェア	ロイロノートSCHOOL	
学習eポータル	Open Platform for Education（MEXCBTの利用）	
デジタルドリル	eライブラリアドバンス	
プリント教材	みんなの学習クラブタブレット	
情報モラル教材	事例で学ぶNetモラル	
プログラミング教材	レゴ WeDo2.0 各校40台	レゴマインドストームEV3 各校20台
デジタル教科書（指導者用）	国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、保健、道徳、英語、書写、地図帳	国語、社会、数学、理科、音楽、保健体育、技術・家庭、英語、道徳、書写



発行年月 令和4年3月
発行 小牧市教育委員会
編集 小牧市教育委員会事務局 学校教育ICT推進室 TEL (0568)-39-6589

第2次

小牧市学校教育ICT推進計画

～「時代を切り拓くこども」の育成を目指して～



策定の趣旨

A I やビッグデータ等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられた Society5.0 時代が到来しつつあります。情報通信技術（I C T）は日々進化しており、スマートフォンや S N S の普及により、どこでも誰もが、常にインターネットを使って情報発信したり交流したりすることができる時代となりました。

そのような中、文部科学省は、令和元年12月に児童生徒 1 人 1 人がそれぞれタブレット P C を持ち、十分に活用できる環境の実現を目指す「G I G A スクール構想」を発表しました。

現在、本市では、児童生徒 1 人 1 台タブレット P C を授業等で効果的に活用しつつ、臨時休校などの緊急時に、こどもたちの学びを保障し、学校と家庭をつなぐオンライン学習を段階的に進めています。

世の中全体のデジタル化、オンライン化が大きく促進し、これからの学校は、I C T を最大限活用することで「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させていくことが求められています。これらの動きを踏まえ、本市では、「小牧市教育振興基本計画」の I C T 施策をさらに具体化するとともに、中長期的な展望に立って I C T 教育の推進を図るため、「第2次小牧市学校教育 I C T 推進計画（以下、「本計画」という。）を策定しました。



中川宣芳教育長

計画の位置づけ・計画期間(令和4年度～8年度の5年間)

本計画は、本市の最上位計画である「小牧市まちづくり推進計画」、市の教育分野における指針である「小牧市教育大綱」、「小牧市教育振興基本計画」に定める基本目標や施策を踏まえて策定したものです。また、学校教育の情報化の推進に関する法律第 9 条第 2 項に規定する「市町村学校教育情報化推進計画」に位置付け、本市の学校教育における情報化の基本的な考え方と進めるべき方向性を示す指針となるものです。

本計画の取組みは、国際目標の S D G s（Sustainable Development Goals）の多くの目標と関連がありますが、目標 4「すべての人々への包括的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」を基本としながら、I C T の活用を通して、小牧市教育振興基本計画が掲げる基本目標の達成に貢献していきます。



ICTは“学びの道具”

目指すのは、「時代を切り拓くこども」の育成



ICTで伸ばすこどもの力

次の5つの力をあわせ持つ
「時代を切り拓くこども」の育成を目指します

論理的・創造的に思考する力

課題を発見・解決し、新たな価値を創造する力

情報を収集する力

情報を取捨選択し、読み解く力

よりよい社会や人生のあり方について考え、学んだことを生かそうとする力

8つの基本方針

こどもの学習プロセスにおけるICTの活用

ICTを学びの道具として活用し、収集した情報を関連付けたり整理・分析したりすることで、課題解決に向けて情報を活用できる力を育てる。

情報モラルの育成

情報モラルの育成において、教科等で繰り返し指導したり、こども自身がタブレットの使用ルールづくりに参画したりして、学校教育全域にわたり体系的に取り組む。

ICTの効果的な活用

- ・学習者用デジタル教科書や多種多様なデジタルコンテンツの活用を研究する。
- ・授業のふりかえりや家庭学習で取り組むドリル教材などの学習履歴を蓄積・活用する。
- ・他校のこどもをはじめ多様な人たちとつながる学びを推進する。

特別な支援を要するこどもの教育におけるICTの活用

- ・適応指導教室及び日本語初期教室においてICTの活用を進める。
- ・病気等により長期間出席できないこどもと学校がつながる仕組みについて研究する。

教員研修の充実と地域への情報発信

- ・ICT支援員を継続的に配置するほか、保護者等からの問合せに対応方法を検討する。
- ・学校行事等に保護者や地域の方が参加しやすいように、開催方法について研究する。

校務事務における活用

- ・欠席連絡・連絡帳など、保護者-学校間の連絡方法のデジタル化に取り組む。
- ・会議資料等のペーパーレス化を一層推進する。

クラウドサービスの利用を前提としたICT環境の整備

- ・ICT機器及びソフトウェア等の試行検証等を行うパイオニア校を設置する。
- ・クラウドサービスを快適に利用できるよう、アクセスポイントの増設・速度向上に取り組む。
- ・最新の技術動向を考慮し、高速で安定した通信環境の構築について研究する。

非常時・緊急時におけるICTの活用

- ・学校と家庭をつなぐオンライン学習等により、学びを保障する。
- ・迅速かつ正確に家庭に情報を伝達したり、家庭と児童生徒の情報を収集したりするなど、情報発信・情報収集の手法について研究する。



具体的な取り組み

1. 全体計画や運用ルールなどの整備

①学校教育ICT推進計画の見直し

②セキュリティポリシー、実施手順の見直し

③情報リテラシーのカリキュラムの再編成

①教育ソフトウェア・コンテンツの充実

②教員研修の充実

③情報教育支援活動

④1人1台タブレットPCの幅広い活用

4. 学習を支える環境の充実

2. パイオニア校での実践検証

①各種ソフトウェアの活用検証

②ICT機器・ネットワーク環境の試行検証



①学校からの積極的な情報発信

②校務支援システムの機能改善・クラウド化の検討

③校内情報ネットワークの整備

④図書管理ツールの整備

⑤学校徴収金システム・保健システム等の整備

⑥遠隔操作システムの整備

5. ICT教育支援体制及び校務事務における活用

3. 学習時におけるICT機器の利用環境整備

①校内有線LAN等の改修

②校内無線LANの拡充

③インターネット回線の改修

④児童生徒用タブレットPCの更新

⑤PC教室の整備

⑥大型提示装置の整備

①タブレットPCの持ち帰り

②家庭学習における活用



6. 非常時・緊急時における活用

ICT教育パイオニア校の取り組み

検証の内容

- ☑ 1人1台タブレットPCの活用検証
- ☑ クラウド・バイ・デフォルトを前提としたネットワーク環境の検証
- ☑ 学習者用デジタル教科書、CBTシステム（MEXCBT）の実証など

計画期間中、市内4校をICT教育のパイオニア校とし、ICT機器及びソフトウェア等の試行検証や授業実践を行っていきます。

